

目次

口 絵

発刊に寄せて(宜野湾市長)
 発刊のことは(宜野湾市教育委員会教育長)
 発刊に際して(宜野湾市史編集委員会委員長)

目次……………一

凡二例……………三〇

総 説……………三三

新聞成立……………三七

年次解説……………

一、一九四五年～一九五一年……………四〇

二、一九五二年～一九五八年……………五

収録記事……………三〇

付録・コラム集……………三三

収録記事

一九四五年(昭和二〇)

▲米英連合艦隊日本本土を砲撃す……………三

渴望の平和愈々到来!!……………三

本部より皆様へお知らせ……………四

手紙が出せませす……………四

各地区市会議員当選者……………五

市長当選者……………七

米軍と台風……………七

沖繩作戦と米海軍損害……………七

移動計画案指示要綱……………七

市域と人口……………八

屋嘉の住人嬉しい我が里へ……………八

米軍損害発表……………九

夜間出漁許可……………九

移動着々進捗……………九

裁判所近く開設……………九

軍政本部より……………九

△百五名の沖繩人朝鮮より帰還……………〇

△食糧供給の努力……………〇

△諸専門学校開設……………〇

△運転手十三名免許状下附さる……………〇

△出漁時間訂正……………〇

△久志市の移動情況……………〇

復興建築材入荷……………〇

小工業界活況……………〇

離島へ移動許可……………一

運通機関拡張……………一

CIVを記入せよ、……………一

軍政本部住民に指示……………一

牛島軍司令官長参謀長の最後……………二

動産所有物の移動許可……………三

食糧配給は近く点数制……………三

行政機構改革……………三

水産業の方向……………三

酒精盗飲七名落命……………三

一九四六年(昭和二一)

父兄よ注意せよ……………七

諮詢会通信部より……………七

衛生局の設立……………七

爆弾騒ぎ頻発……………七

在日沖繩人登録……………八

土地を元の所有者へ……………八

米国へ帰れる市民権の請求……………八

沖繩農業の全貌……………九

沖繩復興の促進	二〇	婦れぬ沖繩人	四一	土地製品最高価格	三
沖繩住民に告ぐ	二〇	警官に武器	四一	外国語学校合格者	三
待望の貨幣経済五月より愈々復活	二〇	沖繩を保持せよ	四一	文教学校合格者	三
市町村長任命	三三	酒一升十五円	四二	資材の横取り堅く御用心!	三
再建めざして沖繩人民政府誕生	三三	コザ地方総務解消	四二	華麗なクリスマスカードで	三
在沖繩人近く帰還か	三三	疎開者愈々ホームイン	四三	沖繩郷土色を紹介	三
全住民の熱意結実、諮詢会発展的解消	三三	郵便局名を変更	四三	無自覚な徒の窃盗重大結果を招来!	三
スポーツ復興沖繩体協生る	三三	ジュラルミンの翼で鍋釜を	四三	可働者に救済停止	三
沖繩再建事業の基本的経済政策大綱	三三	けしからぬ犬死	四四	沖繩婦還者に生業支度金	三
税制も近く施行	三三	故郷の土を踏んで嬉しいでせう	四四	沖繩の捕虜さん	三
沖繩住民に告ぐ	三三	三重県から七一五名	四四	居住地認可	三
怠慢の気風を払ひ勉めよ郷土の復興	三三	海産物など最高価格決定	四五	裁判制度を確立し司法自治へ発足!	三
配給、給料規定	三三	九州よりの帰還者県別送设计出画成る	四五	禁止区開く	三
内地から、さあ疎開者が帰るぞ!	三三	配給を迅速にし遅配を一掃せよ	四五	旅に生きた子らは朗らか	三
通行制限緩和	三三	断然、女子が優秀	四六	芸能団確立し	三
腰をすえて励む宜野湾村民	三三	戦後に芽ぐむハイスクール	四六	孤児に福音	三
布哇の三千人	三三	日本との郵便去る十日より取扱開始	四六	ハワイより千名	三
先づ七月に一万余疎開者続々と帰る	三三	永続的建築事業に沖繩の技術者採用	四六	陸上競技大会	三
日本兵に告ぐ	三三	帰還者にはテント貸します	四六	夜間通行に"断"	三
通信も料金制	三三	復興の促進を期し農家救済応急対策	四六	心せよ! 事故頻発	三
今や我が村に暮らすうれしや	三三	新教員配置	四六	爆発、顛覆、中毒其他	三
海軍より陸軍へ軍政府移管さる	三三	中頭地区の通行違反者は厳罰!	四六	躍進する荒地復旧一と月に二千四百町	三
スタイヤ中將初の布告	三三	沖繩中央病院落成式	四六	引揚げ最終日	三
既発布告は完全に有効	三三		四六	薪炭難解決へ	三

久場崎収容所閉鎖	三六	出て来い"ミス沖繩"	三七	技術員求む	三六
運転手合格者	三六	軍票を交換一弗五十円	三七	手紙は一円	三六
市町村の赤字財政	三六	中央図書館那覇に設置	三七	アメリカ好みの"桜花美人"	三六
	三六	車両組立禁止	三七	爆発死続く	三六
	三六	社告—今月から本紙販売制実施	三七	南米から初の便り	三六
	三六	悦べ、バスは要りません	三七	土地返還要求は違法	三六
	三六	軍物資の"闇"を根絶	三七	沖繩経由、商業航空路	三六
	三六	判検事発令さる	三七	米国の沖繩占領に日本は反対せず	三六
	三六	射殺御免、窃盗に軍警告	三七	来た、来た外国便	三六
	三六	文教学校合格者	三七	布哇、南米から到着	三六
	三六	"闇の女"に痛打	三七	住民間の取引軍政府から認可さる	三六
	三六	公用バス実現	三七	住宅建築一般の分当中止	三六
	三六	車両取締強化	三七	原則として配給品	三六
	三六	"シンガポールで達者です"	三七	全面的に増俸し教員待遇を改善	三六
	三六	公用バス増発	三七	米琉結婚一番乗り	三六
	三六	各種選挙への適用期し	三七	迅速公正な判定で検察陣を明朗化	三六
	三六	先ず市町村選挙法を制定	三七	自らの政府人民が討議	三六
	三六	郷土復興促進期し"沖繩財団"を結成	三七	サイパンから三百余名帰還	三六
	三六	郷土復興促進期し"沖繩財団"を結成	三七	B軍票再び登場	三六
	三六	惧るべし爆発物	三七	颯爽たり公営バス	三六
	三六	初の新戦死慰霊祭	三七	各線とも利用者殺到	三六
	三六	諸外国との郵便近く業務を開始	三七	選挙名簿確定す	三六
	三六	男女平等へ、初、高とも共学を実施	三七	蠅と蚊を撲滅し無病息災の島に	三六
	三六	本年の食糧生産必要量の約半分	三七	賑うアメリカ嫁	三六

一九四七年(昭和二二)

職業を勘案、配給方法を変更	四四	ソ連引揚げ日本残留者	二五	琉球の軍事施設に五千八百万ドル支出	二五
職種別分類法とは	四三	市町村役所	二五	農耕地三反以下が六万余戸	二五
近くソ連帰還者十一名	四二	学校の復旧に青年会出動	二五	教育長に八氏決定	二五
断然多い祖先崇拝	四一	日刊、うるま新報取次所案内(広告)	二五	AJ診療所を開放	二五
窮状打開に真摯な献策	四〇	九月の人口動態	二五	バレーで米琉親善	二五
各村選挙管理委員	三九	認可待つ「郷土史」	二五	知事の行政報告	二五
南米からミンシも送れます	三八	海外渡航者四八八名	二五	保健所の早急設置	二五
肥料、セメント滞貨	三七	市町村単位に小売商業組合を結成	二五	司法陣の強化へ	二五
適正を期し一部変更	三六	医療人の再教育	二五	陸上輸送の増強へ	二五
日本への旅行は公用に限り許可	三六	村売店近く本建築	二五	民需用の「車両」来る	二六
ダンスホール四地区に数カ所	三四	輸入馬やつと売切れ	二五	トラック会社設立を認可	二六
色とりどり混血児	三三	衛生指導講習会	二五	沖繩の復興促進に充分なる活用を図れ	二六
ソ連引揚げ笑顔で上陸	三二	AJ普天間カンベン本月初旬閉鎖	二五	陸運会社	二六
待たれる「未帰還者」	三一	閩の女毎年増加	二五	B軍票発行高六億六千万円	二六
ソ連に残る人々の消息	三〇	ソ連抑留中の沖繩人約千五百名	二五	農民保護政策の樹立	二六
戸籍法の制定等陳情	二九	衛生地区十区に	二五	点灯許可	二六
一戸当り負担渡嘉敷村は四六七円	二八	スクールショウ	二五	土建業者軍工事請負めぐり	二六
ライカム本部	二七	道義運動に自警団組織	二五	市町村の財政確立	二六
沖繩の労働力	二六	工務部、資材の大量扱い	二五	月々下落する甘藷	二六
看護婦講習会へ二名出席	二五	野嵩高、中、初運動場拡張	二五	負担力基準に地方税再検討	二六
沖繩議事に解散命令!	二五	演劇一等「青い山脈」	二五	軍が要求、市町村財政月報	二六
新議員十三名任命さる	二五	演劇コンクール評(二)	二五	一九四九年沖繩十大ニュース	二六
AJキャンプ、訓練所に	二五	情報部が「市町村勢」調査	二五	海運会社、株申込み大島盛況	二六
ソ連引揚げ九名	二五			ソ連引揚げ二九名帰る	二六

支所を含め十か所に	二五	うるむ「まふた」に	二五
軍が保健所設置勧告	二五	今ぞ見る懐しの故郷	二五
公共建物二一四棟	二五	日本の土建業者代表	二五
合同トラック社長久保田氏	二五	沖繩基地建設できよう祝賀に	二五
企業、筆頭は雑貨商	二五	日本人の沖繩進出に備え	二五
沖繩の史蹟日本の国宝保存法で護る	二五	全琉の土建業者に統合団結の気運	二六
委員会を新設し地方財政の確立検討	二五	沖繩建設工事、一部高級技術を除き	二六
ララ委員会諸物資を割当	二五	労務者は沖繩から	二六
北谷、宜野湾の無籍者狩	二五	労務意欲は旺盛	二六
シーツ長官農村を視察	二五	今期の産糖高	二六
飛行場周辺の土地も開放か、	二五	「琉球農林省」新予算で	二六
空軍使用地の境界を明示	二五	愈よきよう開省式	二六
使用地域を決め他は解放	二五	郵政庁きよう発足	二六
琉球海運発足	二五	セメン泥検査	二六
五〇年度事業所得税市町村別の調定額	二五	日琉船舶が提携	二六
教え子達が恩師の古稀祝	二五	米婦人の愛情ア夫人の母も協力	二六
断然多い進学希望	二五	琉銀一般預金と貸付	二六
食糧公団きよう発起人会	二五	校長、教頭級異動	二六
日本留学兄弟姉妹揃って合格	二五	日用雑貨船第三陣	二六
きよう普天間宮婦遷祭典	二五	琉球農運設立	二六
ハワイ郷土訪問団	二五	どっと押し寄せた!	二六
夢に見た懐しの沖繩へ	二五	入札希望六十件突破	二六
市町村に落ちた二億五千万円	二五	灯火管制はこうして、	二六
ソ連より三氏復員	二五	軍が演習実施案を示す	二六

宜野湾劇場開場

一九五〇年(昭和二五)

宜野湾劇場開場	二五	支所を含め十か所に	二五	うるむ「まふた」に	二五
軍が保健所設置勧告	二五	公共建物二一四棟	二五	今ぞ見る懐しの故郷	二五
公共建物二一四棟	二五	合同トラック社長久保田氏	二五	日本の土建業者代表	二五
企業、筆頭は雑貨商	二五	沖繩の史蹟日本の国宝保存法で護る	二五	沖繩基地建設できよう祝賀に	二五
沖繩の史蹟日本の国宝保存法で護る	二五	委員会を新設し地方財政の確立検討	二五	日本人の沖繩進出に備え	二五
委員会を新設し地方財政の確立検討	二五	ララ委員会諸物資を割当	二五	全琉の土建業者に統合団結の気運	二六
ララ委員会諸物資を割当	二五	北谷、宜野湾の無籍者狩	二五	沖繩建設工事、一部高級技術を除き	二六
北谷、宜野湾の無籍者狩	二五	シーツ長官農村を視察	二五	労務者は沖繩から	二六
シーツ長官農村を視察	二五	飛行場周辺の土地も開放か、	二五	労務意欲は旺盛	二六
飛行場周辺の土地も開放か、	二五	空軍使用地の境界を明示	二五	今期の産糖高	二六
空軍使用地の境界を明示	二五	使用地域を決め他は解放	二五	「琉球農林省」新予算で	二六
使用地域を決め他は解放	二五	琉球海運発足	二五	愈よきよう開省式	二六
琉球海運発足	二五	五〇年度事業所得税市町村別の調定額	二五	郵政庁きよう発足	二六
五〇年度事業所得税市町村別の調定額	二五	教え子達が恩師の古稀祝	二五	セメン泥検査	二六
教え子達が恩師の古稀祝	二五	断然多い進学希望	二五	日琉船舶が提携	二六
断然多い進学希望	二五	食糧公団きよう発起人会	二五	米婦人の愛情ア夫人の母も協力	二六
食糧公団きよう発起人会	二五	日本留学兄弟姉妹揃って合格	二五	琉銀一般預金と貸付	二六
日本留学兄弟姉妹揃って合格	二五	きよう普天間宮婦遷祭典	二五	校長、教頭級異動	二六
きよう普天間宮婦遷祭典	二五	ハワイ郷土訪問団	二五	日用雑貨船第三陣	二六
ハワイ郷土訪問団	二五	夢に見た懐しの沖繩へ	二五	琉球農運設立	二六
夢に見た懐しの沖繩へ	二五	市町村に落ちた二億五千万円	二五	どっと押し寄せた!	二六
市町村に落ちた二億五千万円	二五	ソ連より三氏復員	二五	入札希望六十件突破	二六
ソ連より三氏復員	二五			灯火管制はこうして、	二六
				軍が演習実施案を示す	二六

豚疫防あつに移動を厳禁	一九	人の動き	二〇〇	選挙用の用紙、印刷など	二〇
弗獲得へ沖繩住宅公社設立	一九	管理土地の耕作税	二〇〇	軍へ便宜方依頼	二〇
定期船を迎えて賑う那覇港	一九	中部農組長会	二〇〇	選挙管理群島地区委員決定	二〇
農連役員	一九	琉球軍政官府全琉機構管轄	二〇〇	合同派支持	二〇
人事	一九	市町村の件費	二〇〇	求人(広告)	二〇
待望の為替比率を改訂	一九	バス60台発注	二〇〇	ハドン市民から新城区へ	二〇
日本円と比円、交換は三対一	一九	大島から沖繩への流れ込み防止	二〇〇	部落旗や贈り物どっさり	二〇
出たぞ朗報!四万軍作業員へ	一九	第三次郷土訪問団、一四名昨朝上陸	二〇〇	学童しかる	二〇
『琉球美術院』生る	一九	普天間に職業学校	二〇〇	まだ見ぬ夫の懐へ	二〇
三等で四六六円、沖繩航路の運賃改訂	一九	完成近し沖繩一グラウンド、	二〇〇	民政議員選挙噂に上る顔ぶれ	二〇
コザの商業街、二二万余坪使用許可	一九	普天間にお目見得	二〇〇	全琉統一の法人税	二〇
大山軍病院でダンスパーティ	一九	AJの施設一切私が引受ける	二〇〇	法定の選挙運動費	二〇
“Rukyuan Review”	一九	米国兵との結婚に朗報	二〇〇	亜国渡航手続きはこうして	二〇
第二次ハワイ訪問団きょう到着	一九	食糧会社民衆への奉仕第一	二〇〇	結婚にも許可証	二〇
軍が無償で贈る幼児・母親にミルク	一九	知事民政議員選挙いよいよ実施	二〇〇	平良氏支持	二〇
琉球文化研究会	一九	豚コレラ全島で五千頭も犠牲に	二〇〇	地方税基本法	二〇
“婦人課”誕生	一九	沖繩基地工事一、一三〇万弗	二〇〇	白昼白人兵二名に襲われる	二〇
きょうからサンマー・タイム	一九	“復興費”増額せよ	二〇〇	軍使用土地の解決に曙光	二〇
宜野湾村の一部を兵舎に	一九	消防三輪車配置	二〇〇	ドルの民間使用不当所持の完封に、	二〇
全島電化最大電力が数百キロワット	一九	宜野湾でもがけ崩れ	二〇〇	禁令を一段と強化	二〇
民間のトラックはバスではない	一九	選挙法あす公布!	二〇〇	警察力の飛躍増強、	二〇
個人も自由に借り得る	一九	現地打診民政議員選挙(中部地区)	二〇〇	軍管下に琉球特別警察隊を組織	二〇
診療所閉鎖	一九	政治はわれ等のもの	二〇〇	中央政府案	二〇
沖繩返還せず	一九	婦人議員も多数出よ	二〇〇		二〇

民政府増俸実現、改正俸給きのう決定	二四	五名家族で百十六円の増加	二二	中部地区振興会	二五
諮詢委の機能強化	二四	こんな篤農家もいる(新世代)	二二	陸上選手権大会	二五
群島政府の組織法公布さる	二五	沖繩随一の完備を誇る	二二	夜間オン、リミツン一ヵ月延長	二五
市町村長候補者投票は明後日	二五	普天間総合グラウンド	二二	畜産技術官の新配置と異動	二五
市町村議選挙界に旋風	二五	校長教頭異動	二二	窮迫つげる地方財政、	二五
議員定数三分の一に減る	二五	市町村吏員の増俸	二二	待ちあぐむ平衡交付金	二五
平良陣営攪乱の悪質なデマ	二六	中部の総合グラウンド(新世代)	二二	琉球船舶標旗決る	二五
ひらかれた投票箱	二六	今年は農作型	二二	工交部十七の出張所を三つに縮減	二五
戦争前の白黒争い今は昔の夢	二六	軍作業指導員二十名日本へ	二二	校長教頭異動	二五
新市町村長の略歴(1)	二七	国際入札沖繩二社に凱歌	二二	農業国勢調査	二五
市町村長得票成績表	二七	各村の初議会	二二	国際結婚	二五
平良氏支持表明	二八	海外同胞の温手、送金にかわる小包	二二	ジープに便乗して射たる	二五
市町村議員当選者(3)	二九	初の高校討論会	二二	教育関係異動	二五
沖繩選挙史に泥をぬる	二九	鳴りひびく“学園自治”の鐘	二二	女の犯罪実態調べ	二五
前代未聞のデマ暴力	二九	沖繩一を誇る野嵩グラウンド	二二	琉球民政長官にマ元帥が就任	二五
各市町村有権者数一覧表	二九	人の動き	二二	コザ地区教育会総会	二五
四つの選挙今週で“幕”	三〇	米軍の落した外貨	二三	鉛四九箱盗む	二五
われらの新知事平良さんばんざい	三〇	半ヵ年に三二万三千弗	二三	琉球民政府の基本政策	二五
仁川上陸に米第七師	三一	米軍人の夜間立入解禁	二三	公安委選任承認の論戦に終止符	二五
候補者別得票数	三一	うぶ声高らかに「社大党」誕生	二三	学校後援に尽きない奉仕	二五
物価は下落気味	三一	秋空も晴れわたり新沖繩の門出祝い	二三	太平洋を隔てて結ばれる友愛	二五
知事選挙投票率、予想以上の好成绩	三一	陣容成る群島政府	二三	松を食い枯す緑化運動の大敵現わる	二五
対日講和打合開始	三三	政府首脳群島議員初の顔合せ	二三	今明日実弾演習	二五
群島議員候補者の得票数	三四	立入解禁十日間満了すべき成果	二三	一九五〇年沖繩十大ニュース	二五

アイマイ屋敷重取締れ……………二四三

一九五二年(昭和二六)

賀正(広告)……………二四七
 八重山開発移民に拓殖会社案……………二四七
 社大党宜野湾支部結成……………二四七
 警察新機構……………二四七
 琉球海運社委託経営より独立……………二四八
 港湾荷役運送社生る……………二四八
 中部酒造組合(広告)……………二四九
 開業医の地区限定数86名か……………二四九
 八重山移民実現へ……………二五〇
 交通禍防止へ安全協会生る……………二五〇
 砲弾いじって爆発負傷……………二五〇
 他殺?女の変死体……………二五〇
 扶助家庭へ天幕配給……………二五〇
 路上に変死体……………二五〇
 ガス煙で中毒死……………二五〇
 労働力都市へ都市へ……………二五〇
 地区教育委決る……………二五〇
 日本復帰希望が圧倒的……………二五〇
 中部地区に豚丹毒……………二五〇
 労務調査に現われた過小経営の実態……………二五〇
 家屋校舎建築まず資材入手を……………二五〇

倶楽部から洋酒窃む……………二五二
 普天満山神宮寺復旧趣意書(広告)……………二五二
 沖農連五周年記念……………二五二
 那覇石川電信回路を21線に……………二五二
 自動車税……………二五二
 野嵩の共同墓地を整理……………二五二
 医師開業地六六名配置決る……………二五二
 激戦地市町村民住宅の復旧未だし……………二五二
 白人ら通行人を襲う……………二五二
 地区教育長再任……………二五二
 恒久校舎戦前の二八・八％……………二五二
 運動用具どっさり……………二五二
 日本復帰白亜館へ陳情……………二五二
 日本復帰へきょうから署名運動……………二五二
 校長人事百三十一校……………二五二
 トラック運転手急募(広告)……………二五二
 ふえる蘭の女……………二五二
 強盗白人三人組……………二五二
 どっとお米の洪水……………二五二
 食糧きょうから出荷……………二五二
 運天、大山診療所廃止……………二五二
 農村ありのまま宜野湾村の巻……………二五二
 宜野湾村に三人組強盗……………二五二
 首里署がパンパン狩り……………二五二

密貿易船二隻本部署が検挙……………二五三
 琉球石油会社発足……………二五三
 中部地区軍労務の実態調べ……………二五三
 天然記念物を護れ……………二五三
 日本復帰運動75名獲得を……………二五三
 土地所有権に伴い軍道路明示を要請……………二五三
 新居住地求めあえぐ……………二五三
 弗軍票切り換え……………二五三
 琉球・小笠原の信託統治既に決定……………二五三
 日本復帰署名運動今後も続行する……………二五三
 スタンプなき煙草あすから買えません……………二五三
 旧市町村、区有地……………二五三
 “市町村管理が妥当”……………二五三
 大型軍民家に突入……………二五三
 野嵩で発電所焼く……………二五三
 首里署がパンパン狩り……………二五三
 無医村に介輔を起用……………二五三
 高校卒業生の就職調べ……………二五三
 校舎修理費が認可……………二五三
 中部市町村長協議会……………二五三
 昼も稼ぐ夜の姫……………二五三
 脳炎やっとな火……………二五三
 米軍工事来春完成……………二五三
 日本復帰署名ぞくぞく集る……………二五三

農村の声現地座談会(19)……………二七〇

農村の声現地座談会(21)……………二七〇
 農村の声現地座談会(22)……………二七〇
 農村の声現地座談会(23)……………二七〇
 どう響いたか米人立入禁止……………二七〇
 日本復帰署名運動終る……………二七〇
 医師二介介輔一七名配置……………二七〇
 バスマたも転覆……………二七〇
 普天間構作隊カンパン内で交通禍……………二七〇
 勤労所得税高額者番付……………二七〇
 世界平和を願う自由諸国友愛の象徴……………二七〇
 日米安全保障……………二七〇
 社説、講話成立と日本の将来……………二七〇
 運ちゃんを指名手配……………二七〇
 アルバイト学生三重奏……………二七〇
 軍用地代支払来年の春頃からか……………二七〇
 布哇沖繩人連合会結成……………二七〇
 童心を虫ばむもの……………二七〇
 宜野湾村で二名死……………二七〇
 惨!ルース一過の跡を追う……………二七〇
 校舎一七六棟全壊……………二七〇
 全琉稀有の農作物被害……………二七〇
 嵐の暗夜吹き飛ばされ、九時間も漂流……………二七〇
 普天満権現の真相とその復興について……………二七〇

中部四カ村訓練衛生視察……………二七五

ルース被害約十二億円……………二七五
 軍作業員の指紋を採集……………二七五
 ルース台風最高風速55米(瞬間)……………二七五
 軍使用土地料資料作成後支払う……………二七五
 あれは何うなった……………二七五
 大きな道路に全面的な建設工事……………二七五
 在布同胞が神宮再建へ……………二七五
 豚丹毒下火……………二七五
 野嵩中校盗賊に荒さる……………二七五
 清浄野菜の増産を要望……………二七五
 家族部隊荒す……………二七五
 待望の立法院議員選挙法……………二七五
 軍需品盗み三名に体刑……………二七五
 小銃を発砲……………二七五
 共進会賑わう……………二七五
 本社主催第一回高校新人野球……………二七五
 本社選定五一年の十大ニュース……………二七五
 一九五二年(昭和二七)
 村のため四十二年……………二七五
 ジープ盗まる……………二七五
 社大党中部地区の動き……………二七五
 百教室の建築費……………二七五

「お米作り」記録破る……………二八〇

五石二斗余で全琉一か……………二八〇
 広告……………二八〇
 コザ地区教育会事務所落成……………二八〇
 期待される輸出蔬菜……………二八〇
 教育行政区本島は四区に……………二八〇
 社大党の公認候補……………二八〇
 戦塵収まらぬあの頃、……………二八〇
 廃きよの中から再建への息吹き……………二八〇
 選挙戦火蓋を切る……………二八〇
 部落経営の売店一四七カ所……………二八〇
 昨朝亜国へ79名……………二八〇
 どしどし売れる清浄野菜……………二八〇
 噂の顔ぶれは出揃ったが……………二八〇
 まだ火を吐かぬ言論戦……………二八〇
 生活改善課、乗り出す……………二八〇
 遺骨五百余戦死者の氏名……………二八〇
 中部合同演説会……………二八〇
 全島電化「はやく実現を」……………二八〇
 蔬菜集荷場に補助金……………二八〇
 一晚に三名射殺……………二八〇
 タクシー界の紅一点……………二八〇
 各候補者はいくら金を使った?……………二八〇
 農産品評会中部地区……………二八〇

残存校舍16校が復旧	三三三	メーデー歌高唱	三五	季節風	三三
苦しみにまけない心(こども版)	三三三	社会教育主事発令	三五	飛行機で探す盗難のトラック	三三
選挙違反とどしどし追及	三三三	「日の丸」の掲揚OK	三六	日本土建労働者二百五十余名スト	三三
当選人決定	三三三	「教科書」の悩み	三六	軍用地代の適正へ	三三
立法院議員選挙権平均一二・八%	三三三	本年度の健康優良児	三七	犯罪に映るコザの特異性(上)	三三
成績と信用如何で指定は場も拡大	三三五	米兵に殴らる	三八	犯罪に映るコザの特異性(中)	三三
農研試支所落成式賑う	三三五	「公約無視」黙認出来ぬと	三八	犯罪に映るコザの特異性(下)	三三
ぼくは強く生きるぞ(こども版)	三三六	教育委の連合地区設定に抗議	三八	二千余も押かけ盛況極めた労働者大会	三三
闇の女狩り	三三六	太平洋のジブラルタル沖繩(1)	三九	軍用地料に再考慮要望	三三
軍向け野菜きょう出荷式	三三六	太平洋のジブラルタル沖繩(2)	三九	軍ガソリン抜取中押らる	三三
歴史的琉球政府創立	三三六	農村における生活改善運動	三九	移民待つ宝庫八重山	三三
民への軍払下品	三三六	太平洋のジブラルタル沖繩(3)	三九	スト全琉的問題に発展、	三三
昔懐しい小学、中学に	三三六	軍作業より帰農「蔬菜」で活気つく	三九	要求貫徹を誓い	三三
勤儉運動全琉的に展開	三三六	太平洋のジブラルタル沖繩(4)	三九	災害復旧費などが資金支出を要望	三三
沖繩百号顔負け	三三六	太平洋のジブラルタル沖繩(5)	三九	軍使用土地の	三三
立法院「常任委」顔ぶれ決る	三三六	こども組合が七千円を貯金	三九	賃貸借契約についてのお知らせ	三三
特警隊普天間中隊の	三三六	教育委員の顔ぶれ	三九	軍用地代の契約どうなる	三三
着任一周年式で隊員を表彰	三三六	米きょうから配給中南部へ	三九	公告	三三
婦人の解放叫び全琉婦人連合会結成	三三六	軍用地査定一部完了	三九	琉球海外興発株式会社(公告)	三三
よくもポロ校舎で	三三六	パンパン狩二二名を検挙	三九	日本道路スト調停成る	三三
沖繩本島の教育地区十四区に決まる	三三六	耕地は年三「原野」は一筆十円	三九	軍用地地主達は静観気味	三三
射撃演習	三三六	連合教育地区十地区制に決定	三九	徴役八ヶ月ガソリン抜取犯	三三
講和発効・祖国の独立を祝う	三三六	軍用地料軍は斯く評定した	三九	村めぐり	三三
コザ地区の男教員部結成	三三六	アルゼンチン呼寄せけさ56名出発	三九	沖繩全市町村長軍と膝詰め協議	三三

市町村長に軍が回答	三三六	日用品殆ど免税物品税法可決	三五	「軍用地の契約期間20年は長すぎる」	三五
郵政局人事	三三六	外貨割当一千三百万弗10月12日	三五	契約学生42名来年卒業	三五
全琉各地区農村の物価調べ	三三六	「われこそは真の日本人」	三五	普天間に琉銀支店を	三五
松食虫まん延の兆	三三六	南米から勝組帰る	三五	広告	三五
八重山移住沖繩から百五十戸	三三六	各教育区に教室を割当	三五	浮かび上る海外在留者	三五
精神面育成にハワイ同胞が後援会	三三六	自動車泥棒	三五	田畑の課税標準	三五
輝男君美筆米貨74弗届出る	三三六	日本人と沖繩人が集団で大立廻り	三五	軍用地問題で行法委現地を視察	三五
東亜キャンプの沖繩班	三三六	ベル氏が運動用具寄贈	三五	立退料増額など陳情	三五
土地収用法案成る	三三六	住民預金高6億円	三五	行法委の中部地区	三五
けさ、立法院が決議	三三六	誉れの八景大勢すでに決す	三五	「軍用地」視察報告書	三五
【戦犯釈放してくれ】	三三六	カンパンの無籍者取締り	三五	軍用水道のパイプを盗む	三五
中央教育委員さま	三三六	創立一周年御案内(広告)	三五	軍用地再確認と使用料支払	三五
中部歓楽街に閑古鳥	三三六	金に詰まされ地主の二割が押印致し候	三五	台風には姿消す仮校舎復興へ	三五
国民運動を展開	三三六	映画観覧料	三五	時間外開業初の許可	三五
マ大使から回答	三三六	八重山開拓民に移住費助成	三五	牧港発電所一日送電式	三五
琉球の国民所得日本の半分以下	三三六	集団暴行事件	三五	毎年春に開く	三五
遺家族慰安会	三三六	「文化財保護会」生る	三五	中金発足	三五
身寄りを探す	三三六	集団暴行の行過ぎを注意	三五	沖繩を循る護岸工事	三五
護岸と排水を	三三六	ス大佐の「学校援護」	三五	ライカムで新年祝宴	三五
「琉球民生党」で発足	三三六	泥沼の二十才の青春	三五	一九五三年(昭和二八)	三五
軍用地代更に話し合う	三三六	墮胎補助の助産婦に罰金刑	三五	協同組合飛躍の年	三五
未成年飲酒喫煙罷りならぬ	三三六	配給米の売行き	三五	日の丸は元旦だけ?	三五
中部のオフリミツ解禁	三三六	ブラジルは招く移民促進と教育援助	三五		三五
文部省が琉球から公費留学生	三三六	排水工事と軍給水	三五		三五

市場開設!! (広告)	三六	大山で山火事	三六	郷土出身者も11家族帰る	四一
鹿児島に眠る遺骨氏名判る	三七	ドルもって捕まる	三七	政府職員給与段階はこれで	四一
私たちの復帰運動は正当、	三七	性質の悪い白人兵二名検査	三七	波之上宮近く復旧	四一
解約しないでほしい	三七	“軍用地にこれ以上とらないで”	三七	立退者への補償	四一
沖繩諸島祖國復帰期成会生る	三七	一号路線に交通標識塗る	三七	オフ・リミッツの悲鳴	四一
市町村自治財政法きのお公布	三七	乱暴な白人兵	三七	消えた“夜の笑顔”	四一
南米から今様浦島帰る	三七	“今後も援助しますよ”	三七	ガリオアの使途公表さる	四一
南米移民あす出発	三七	移動補償費があんまり少ない	三七	コンセントト下下げを陳情	四一
こもこも祖國復帰の熱弁	三七	もちあがる親善譜	三七	高圧線にふれたが奇蹟的に快復	四一
オグデン副長官各階層の夫人招待	三七	食糧会社	三七	婦郷を急ぐ三十七名	四一
殿堂に恥じぬ本格劇場への移行時代	三七	地中の石油管にホース取付け盗む	三七	契約内容を知らせ	四一
地方議員の補充選挙	三七	殺された白骨死体〇〇〇〇と確認	三七	琉球での土地使用	四一
立退家屋に生活費補償を	三七	青年教師を部落が表彰	三七	侵略からの自由防衛のため	四一
農業振興に張切る	三七	中部地区立法院議員補選現地の様相	三七	軍紀粛正の側杖?	四一
功は奪いあい責任はなすり合う	三七	各地の投票成績	三七	消費と労力実態科学的に把握	四一
琉球人の公休日	三七	婦人候補最高点に	三七	一時間に三人殖える	四一
社大党中部連合支部を結成	三七	金口木舌	三七	体験した中共の生活(舞鶴便り⑤)	四一
食糧品の自由販売(広告)	三七	天願氏(野党)圧倒的に勝つ	三七	“損害を賠償してくれ”	四一
沖繩青年会の実態	三七	天願氏の当選証書保留	三七	立法院本会議軍用地に関する決議	四一
郵便貯金で三三三一万円	三七	運輸手泣せ	三七	波之上17日に地鎮祭	四一
日本へ送金	三七	選管委へ要望書	三七	地主の損害軽減に努力す	四一
沖繩中部酒造組合(広告)	三七	中部補選やり直し	三七	オフ・リミッツ近く解禁	四一
籠球選手権	三七	異郷の地鹿児島に眠る	三七	講和発効記念日を迎えて(こども版)	四一
教育税なかなか集らぬ	三七		三七	再び選挙告示	四一

ベルリ百年祭行事いよいよ高潮	四八	宜野湾村関係に三万二千元	四七	軍用地使用料	四三
オグデン少将主席らに言明	四八	猛威振るる脳炎	四七	黒人兵が車賃強奪	四三
殺人容疑の比島人、大山で逮捕	四八	講和後の地代適正に	四七	討論会で沖繩を紹介	四三
兵隊さんが英語指導	四八	軍用地代二百万円	四七	ドル軍票の使用大巾制限	四三
軍用地対策に民間組織の強化を	四八	再燃する軍用地料問題	四七	講和発効前の軍用地使用料	四三
宜野湾村内の軍用地料支払い始まる	四八	編成やりなおし	四七	地方財政を潤す	四三
条件つきのオン・リミッツ	四八	土地管理特別会計予算案	四七	畜産育成に本腰	四三
公告	四八	講和前・軍土地使用料	四七	米兵盗み歩く	四三
宜野湾伊佐二万坪開放	四八	三分の一は支払済	四七	働きながら“勉強”	四三
美しい愛の装い	四八	野嵩に納骨堂	四七	使用地の賠償を要求	四三
賑うファッションショー	四八	田畑の所得予定基準率決る	四七	危険な悪戯二少年重傷負う	四三
三党合同演説	四八	土地関係三者の合同協議会開く	四七	靖国神社大祭へ	四三
高校の授業料	四八	地方公務員の待遇調べ	四七	爆発	四三
米兵の集団暴行	四八	明るい電灯を早く	四七	米兵蓄音機盗み捕って黙秘権	四三
市町村土地特別委連合会力強く発足	四八	浦添、宜野湾両村も沖配電管下に	四七	奉祝普天間権現例祭(広告)	四三
軍用地問題等の要望事項決定	四八	軍用地料一八三〇万円委託	四七	普天間宮の晴れ姿あす盛大なお祝い	四三
軍用地使用料	四八	弗交換本場は中部地区	四七	軍用地使用料	四三
しばらくの辛抱	四八	三土地委代表少将と会談	四七	野嵩で配電事業の予備聴聞会	四三
講和発効以前の空軍関係地代	四八	ふえた米人の犯罪	四七	屑鉄問題、円満に妥結	四三
軍用地、早期開放	四八	浦添、宜野湾地元両村は反対	四七	戸籍整備法きよう公布	四三
地代百万円	四八	配電事業企業乱立のうごき	四七	琉球の重要性強調	四三
牧港配電発足	四八	ふるわぬベチンコ	四七	モデル公民館	四三
米兵二人組運転手を襲う	四八	役員会で方針決定	四七	青年、婦人会新たに指定区決る	四三
純益年間およそ二千万円	四八	土地問題の円満解決	四七		四三

太古さながらの白太鼓	三三
指定の価値なし戦災の普天問松並木	三三
伊江島問題軍両首脳も憂慮	三三
健全娛樂に切替誓約	三三
伊佐浜代替地の接収を	三三
跳梁する電線ドロ	三三
暗中もさく軍用地問題	三三
言葉を通して	三三
訴願審理を延期	三三
殆んど貧困家庭	三三
今後の善処方を嘆願	三三
宜野湾村の軍用地	三三
永久的な地料に不服	三三
布告改正まで審理の延期を主席が折衝	三三
オフ・リミッツの打撃	三三
軍用地問題にハル長官声明	三三
地主大会で世論喚起	三三
渡り合う宜野湾とDE	三三
民政府、宜野湾への点灯を援助	三三
主席の「渡米」を要望	三三
囚人暴動を顧りみて	三三
「訴願審理は続行する」	三三
シリ押しの外資進出	三三
軍用地坪掘り審査で立証	三三
訴願側が証人証問	三三
鳩笛	三三
きのう双方の最終弁論	三三
大謝名のミルク工場市販始る	三三
伊佐浜の立退き	三三
軍・主席へ強硬申入れ	三三
軍用地問題を訴う	三三
立禁地区の巡視	三三
政府軍用地補償要綱案	三三
安くなる車賃	三三
各国高校代表と伍して	三三
国際弁論の照屋君帰る	三三
年を越す立退き	三三
一九五五年(昭和三〇)	三三
伊江島真謝区、宜野湾伊佐浜の軍用地	三三
五万坪の新開地	三三
軍用地補償要綱成る	三三
どうなるか個人契約	三三
伊佐浜地主転業への動き	三三
オフリミッツ解禁更に推進	三三
波紋投げた沖繩問題	三三
民政移管の法案準備	三三
現貨貸料は暫定的	三三
議会には絶えず進言	三三
円満に解決する伊佐浜の接収問題	三三
未解決が二件	三三
一夜の中三ツの交通禍	三三
「早く歩道をつけて」一号線	三三
男達の妥協です	三三
二つの軍用地問題	三三
「一方的決定で不当だ」	三三
墓補償の一億余万円も要求	三三
伊佐浜の軍用地問題	三三
婦人たちは斯く訴える	三三
伊佐浜の軍用地問題	三三
婦人たちは斯く訴える	三三
補償の改善は出来ぬ	三三
飛行機演習の流弾?	三三
伊佐浜接収取止を要請	三三
Z機墜落	三三
軍用地連合会きよう評議員会	三三
軍用地連合会、地料の一括払い反対	三三
道路横断断絶かれて死ぬ	三三
全島にアラレ	三三
経済振興計画	三三
桃原茂太氏	三三
食糧補償金を支給	三三

伊江島と伊佐浜土地収用	三三
遂に軍は非常手段に訴う	三三
部外者が坐り込み	三三
立法院土地委現地を見る	三三
対策を協議する住民達	三三
伊佐浜紛争の真相	三三
立法院特別委軍発表を弁駁	三三
坪34円から88円の差	三三
伊佐浜の婦人は無罪	三三
紛糾する強制接収	三三
募る地主の不安と焦燥	三三
「これ以上土地をとらないで」	三三
悲痛な訴願隊	三三
地料訴願審理に暗影	三三
伊佐浜海岸干拓できず	三三
「改めて地主の意向聴く」	三三
中止は出来ぬ、伊佐浜接収に軍が回答	三三
「院議による接収反対」	三三
「適正な補償を」	三三
くすぶる軍用地問題	三三
全疏軍用地主大会(広告)	三三
地主側で陳情合戦	三三
もたつく軍用地問題	三三
軍民調整の板ばさみ	三三
きのう軍用地主大会	三三
二千余人緊張の三時間	三三
遺跡や宗教建造物、軍が撤去を要求	三三
拝所地域接収、地元が中止要請	三三
伊佐浜護岸中止に部落民一致	三三
伊佐浜、要求通れば使用に協力	三三
「牧師さん有難う」	三三
大山校がグ大尉に感謝状	三三
「たえられぬ犠牲」	三三
中部で土地問題発表会	三三
軍用地問題と祖国復帰	三三
「収用令の施行中止」	三三
軍用地連合会が陳情	三三
土地問題渡米折衝資料纏る	三三
普天間飛行場の出入を制限	三三
伊佐浜の護岸修復、軍が早期完成要望	三三
戦争失明者に希望蘇る	三三
野嵩区に奨学会	三三
軍用地一万一エーカー拡大か	三三
米陸軍長官証言の波紋	三三
伊佐浜の「埋立」工事補助金取消し	三三
立法院「軍用地要望決議」可決	三三
酒気運転でへねる	三三
沖繩の土地は買上げ	三三
照屋君野嵩高校が一位	三三
「買上反対」に拍手の嵐	三三
渡米使節団に住民の期待	三三
水稲結実期に軍施設	三三
「普天間」の米人住宅、松村組に落札	三三
季節風	三三
宜野湾に四十組の防犯隣組	三三
注目の「米軍事委」開く	三三
松下町など二万二千余坪を開放	三三
純系の種豚84頭	三三
「解禁」できぬ	三三
伊江島へ慰問金	三三
飲料水施設軍が学校に	三三
過去一ヵ年の軍用地料	三三
自転車乗りへねる酔払い運転で	三三
巣鴨から仮出所	三三
18日までに伊佐浜立退き	三三
伊佐浜立退き問題区民が方針決定	三三
主席もム民政官へ要望	三三
突然の立退は無理	三三
知念宜野湾村長談	三三
伊佐浜の立退き問題	三三
伊佐浜千五百坪の干拓行方	三三
伊佐浜の立退き評定	三三

「干拓」一本で押す……………	六四	收容第一夜を明かす伊佐浜……………	六三〇	住民の不安除去せよ……………	六四〇
干拓を再折衝政府が会谈……………	六五	援助に感謝 伊佐浜が政府へ……………	六三〇	旧盆の団らんをよそに……………	六三三
伊佐浜の軍用地問題……………	六五	伊佐浜の区民へ更に10日分の食糧……………	六三〇	伊佐浜の損失補償……………	六三三
遂に重大難局へ……………	六五	「無罪」と「却下」……………	六三〇	民政府六日に支払う……………	六三三
差し迫った立退き……………	六七	伊佐浜軍用地干拓は望めぬか……………	六三一	盆踊り見に出かけて……………	六三三
軍用地主大会、解決四原則を再確認……………	六八	伊佐浜立退民に定住地を……………	六三三	石川の幼女殺人事件……………	六三三
住宅調査昨年未現在……………	六八	水を求めて……………	六三三	伊佐浜の移動先視察……………	六三三
全疏で十四万二千戸……………	六九	「干拓あてにならぬ」……………	六三三	早く水道を…伊佐浜が陳情……………	六三三
伊佐浜……………	六九	伊佐浜、主席の見通し……………	六三三	四九万円を支払う……………	六三三
立退き前夜の「伊佐浜」……………	六〇	干拓待つ伊佐浜……………	六三三	移動はしたものの……………	六三三
伊佐浜：悩みの知念村長……………	六一	普天間でトラック横転……………	六三三	「水」に悩む伊佐浜立退区民……………	六三三
「命令は下された」接取の際は穏便に……………	六一	接取のとはちり……………	六三三	日産百トン目標に……………	六三三
軍用地問題の実相……………	六一	普天間の開放地……………	六三三	設立急ぐ農産製糖工場……………	六三三
接取午前中行われず……………	六一	琉球有線放送協会設立主旨(広告)……………	六三三	強制測量十二日から開始……………	六三三
伊佐浜の土地強制接取……………	六一	伊佐浜軍用地代替地はどうなった……………	六三三	伊佐浜区民に補償もれ……………	六三三
きょうに持越しか……………	六一	先住民の遺跡発掘……………	六三三	立退料の不均衡……………	六三三
伊佐浜軍用地今既接取……………	六一	伊佐浜の干拓不可能……………	六三三	伊佐浜接取政府は百万円負担……………	六三三
高校教諭も検査さる……………	六一	見舞金四万五千元……………	六三三	軍用地問題解決促進第二回住民大会……………	六三三
住宅取りこわし始まる……………	六一	伊江・伊佐浜部落に……………	六三三	四つの決議……………	六三三
「地主の損害を少く」……………	六一	土地委連合会総会……………	六三三	移住地の埋立……………	六三三
関係者が対策に乗出す……………	六一	立入解禁を陳情……………	六三三	伊佐浜移住地への給水……………	六三三
すかして速出す老翁八十九才……………	六一	伊佐浜―森田へ移動……………	六三三	伊佐浜新部落道路を開設……………	六三三
大山小校仮移転の悲話……………	六一	伊佐浜あす移動水道や電灯も設備……………	六三三	加害者は白人？大謝名の轍逃げ……………	六三三
立退住民の生活保障……………	六一				

轍逃げでない、那覇航空隊が発表……………	六五〇	実情を米議事に訴え……………	六七〇	軍用地リスト洩れ……………	六八〇
「土地取り上げないで」……………	六五〇	住民の声も報告せん……………	六七〇	ハートに死刑の判決……………	六八〇
宜野湾村真志喜の訴え……………	六五〇	「困った事情よく分る」……………	六七〇	中部四地域立入解禁に祟る街娼……………	六八〇
「要求地料は高すぎる」……………	六五〇	伊佐浜の反駁陳情をうける……………	六七〇	米沈没船の撤去宜野湾村が申請……………	六八〇
基地周辺の軍紀肅正に……………	六五〇	宣教師が見た軍用地問題……………	六七〇	米兵タクシー強奪逃走……………	六八〇
くり出す夜間巡警兵……………	六五〇	ダウンズ博士と語る……………	六七〇	現地料を遙かに上回る……………	六八〇
立退追加補償伊佐浜から要請……………	六五〇	ブライズ調査団早急な「解決」に努力……………	六七〇	スマートな交番……………	六八〇
移動先の借地料は十倍……………	六五〇	協組めぐり(6)宜野湾村……………	六七〇	中部四地域オフミッソ解かる……………	六八〇
古井戸から砲弾ぞくぞく……………	六五〇	水道施設完成まで軍給水継続を……………	六七〇	Xマスの贈物……………	六八〇
特飲街で風紀取締……………	六五〇	奉祝普天満権現例祭(広告)……………	六七〇		
伊佐浜地主へアルゼンチンから激励……………	六五〇	伊佐浜の立退部落民陳情……………	六七〇	一九五六年(昭和三一)	
感心な吏員さん人命救助で近く表彰……………	六五〇	「普天間商工会」誕生……………	六七〇	伊江島・伊佐浜へ慰問品……………	六九〇
わっ水が出た！学校に水道の施設……………	六五〇	追われた米兵肥溜にどぼん……………	六七〇	外人登録怠り逮捕……………	六九〇
給水…今月で打切る……………	六五〇	農連中部製糖場……………	六七〇	普天間小学校の火事……………	六九〇
人権擁護の叫び結集……………	六五〇	低い市町村職員の平均給……………	六七〇	琉銀普天間支店きのう落成式……………	六九〇
伊佐浜の子ら大喜び……………	六五〇	市町村別土地価格……………	六七〇	伊佐浜の立退者八重山へ……………	六九〇
確信を得るまで滞在……………	六五〇	職員四名の村もある……………	六七〇	モーニングスター社……………	六九〇
昨夜II調査団一行到着……………	六五〇	全疏市町村の職員数……………	六七〇	宜野湾に新社屋作る……………	六九〇
比嘉主席、調査団に訴う……………	六五〇	草刈りで砲弾発見……………	六七〇	非訴願一〇四件、審理終了の18村に……………	六九〇
調査団かこむ公聴会……………	六五〇	衛生検査に合格……………	六七〇	ダイヤル式電話……………	六九〇
ブライズ調査団けさの公聴会……………	六五〇	DEの地価査定に反論……………	六七〇	軍用地五万坪開放……………	六九〇
二地主も証言……………	六五〇	普天満権現の本堂落成式……………	六七〇	軍負担で水道……………	六九〇
詳しく現地視る調査団……………	六五〇	政府資料一部修正……………	六七〇	オネスト・ジョンの空輪演習……………	六九〇
きのう中部の軍用地めぐり……………	六五〇	部隊侵入の賊射殺さる……………	六七〇	普天間グランド・パレス……………	六九〇

豚や猪は新記録……………	六九五	生活扶助を続けて……………	七〇三	伊佐浜区民を救え……………	七二四
各派の公認決定大詰へ……………	六九五	在留許可更新……………	七〇三	逆境に挑む伊佐区民……………	七二四
旧正よそに暗い表情……………	六九八	私学連代表野嵩高で講演……………	七〇四	汗の奉仕で公民館つくる……………	七二五
普天間校へ愛の救援金募る……………	六九八	四年間に死傷18人……………	七〇四	自動電話の開通式賑う……………	七二五
一夫多妻を信奉……………	六九七	警察署の設置を……………	七〇四	整地後は農耕許す……………	七二五
奉仕作業に活躍……………	六九七	納得すくの測量要望……………	七〇四	新収収地の訴願で……………	七二五
選挙運動費用各区の制限額発表……………	六九七	四月以降の生活補助費も……………	七〇五	宜野湾から主席へ照会……………	七二五
美里など中部五ヶ村の一括審理……………	六九八	なんと五百三十余里……………	七〇六	軍用地料は土地収入を基準に……………	七二六
きのう那覇教会で桃原茂太氏追悼会……………	六九八	米軍沖繩基地を拡張せん……………	七〇六	米議会一括払いを決定……………	七二六
左うちわでゴールイン……………	六九八	代替耕地にも農作物撤去……………	七〇七	憂慮されるプライス分科委の勧告……………	七二六
ここに顔の無投票地区……………	六九八	Aサイン取締り実施……………	七〇七	都市化する宜野湾村……………	七二六
警察専用の電話線盗まる……………	六九八	自動電話の開通に記念切手発行……………	七〇八	大謝名から普天間まで……………	七二六
沖繩の返還要請……………	六九八	社会研究クラブに解散命令……………	七〇八	頑張る伊佐浜部落……………	七二六
また外人？の轍逃げ……………	六九八	自由労連調査団けさ米島……………	七〇八	水に恵まれた大山……………	七二六
総選挙住民の審判下る……………	六九八	野嵩高校生徒会六項目を要望……………	七〇九	「プライス勧告」を発表……………	七二六
47%が民主党支持……………	七〇〇	「話しあえばわかる」……………	七〇九	祖先伝来の土地守る悲壮な心境……………	七二九
前回より減る社大・人民……………	七〇〇	普天間飛行場公開大賑わい……………	七〇九	軍用地に悩む宜野湾……………	七二九
二千万円の工事落札……………	七〇二	伊佐浜部落民を救え……………	七一一	宜野湾村議会総辞職を決意……………	七三〇
ハワイ観光団24名けさ着く……………	七〇二	なんとか生活補償を……………	七一一	この叫び世界に届け……………	七三〇
美里高原の開田に反対……………	七〇三	軍用地の賃貸契約今度は布令91号で……………	七三三	全島一斉に住民大会……………	七三二
大山、新城両区の学事奨励会賑う……………	七〇三	伊佐浜の人達を救援……………	七三三	基本方針一昨年決定すみ……………	七三三
読谷・普天間の……………	七〇三	老婆を守り野良仕事……………	七三三	「この金は貰えない」……………	七三三
飛行場地区に立入るな……………	七〇三	調査団、伊佐浜の実情きく……………	七三三	原野九千坪接収を断念……………	七三四

三倍に値上げ軍用地料……………	七〇四	私達にも生活補償を……………	七〇五	衰えみせぬスクラップブーム……………	七二五
「プ勧告粉砕しよう」……………	七〇五	三人組の少年、警察専用線切盗る……………	七〇五	埋没屑金属軍用地内の収集を……………	七二五
野嵩高校生徒会も決起大会……………	七〇五	米兵が五名脱走……………	七〇五	生活保護の継続……………	七二七
普天間区民運営費負担申込み……………	七〇六	街に拾うオフ・リミッツ……………	七〇六	女給殺しの米兵自供……………	七二七
確定人口八十万一千六十五人……………	七〇六	反米的集会は開かぬ……………	七〇六	土地問題重大段階へ……………	七二八
五年前より十万二千増……………	七〇六	単協から浮上る……………	七〇七	軍用地内の食糧社敷地……………	七二八
立退きとは関係ない……………	七〇七	三億円の軍用地料……………	七〇七	軍用地48万坪が開放……………	七二九
DEの地上物件調査……………	七〇七	接収時の条件と違う……………	七〇七	盛り場の実態(1)普天間……………	七二九
普天間に市場開設……………	七〇七	宜野湾村も声明発表……………	七〇八	盛り場の実態(2)統普天間……………	七二九
宜野湾村民大会……………	七〇八	オフ・リミッツ解禁御礼(広告)……………	七〇九	伊佐浜残留組生活援助を陳情……………	七三〇
土地守る協議会発足……………	七〇八	自立できる迄援助を……………	七〇九	盛り場の実態(3)大謝名・新町……………	七三〇
米でプライス勧告に抗議……………	七〇八	南米移民発つ……………	七〇九	電線ドロ五名検挙……………	七三〇
「我らの土地を守ろう」……………	七〇九	99%が不合格品……………	七〇九	伊佐浜区民の伯国移民……………	七三〇
スクラム組んで街頭デモ……………	七〇九	処分学生救えのゲキ……………	七〇九	高圧線泥捕る……………	七三〇
一坪たりと売り渡せぬ……………	七〇九	創立十周年祝う普天間区青年会……………	七〇九	盗品電線の故買犯に……………	七三〇
「プ勧告粉砕へ総決起……………	七〇九	放射能の汚染なし……………	七〇九	「銅線類」絶対買うな……………	七三〇
軍用地開放……………	七〇九	忘れられがちな「残留組」……………	七〇九	比嘉主席急逝……………	七三〇
30米の風ではダメ……………	七〇九	メッキでドル稼ぐ……………	七〇九	危い！民家に小型ロケット弾……………	七三〇
伊佐浜被害僅少……………	七〇九	台風エマ大暴れ……………	七〇九	卵四個盗んで両刑……………	七三〇
中部をオフリミッツ地域に……………	七〇九	住家の全壊千二百棟……………	七〇九	伊佐浜立退部落にトタン百五十枚……………	七三〇
中部のデモ行進中止……………	七〇九	部隊荒し捕る……………	七〇九	ドライブ・イン・レストラン……………	七三〇
まだある女子の深夜業……………	七〇九	無傷はただ一軒……………	七〇九	大山にお目見得……………	七三〇
軍用地の開放一月以降四十一万坪……………	七〇九	立退部落の復旧資材、軍へ援助を要請……………	七〇九	開放地の損害補償方を請求……………	七三〇
MPが客追っ払う……………	七〇九	運転手を鎌で脅かす……………	七〇九	女子の深夜業で稼ぐ……………	七三〇

野菜を贈って激励	七六	泊り込みで頑張る	七四	米経済調査団に期待	七六
宜野湾・浦添の軍用地十一万余坪開放	七六	電線盗みパトカーに捕わる	七四	解決は日本の折衝で	七七
南米移民伊佐浜立退者を優先	七六	名護高生徒会が伊佐浜、真謝へ授護金	七四	宜野湾真志喜の簡易水道に補助	七九
五六年度優良図書館紹介④	七六	地方公務員身分保障もない	七五	政府補助金	七九
重労働八年・除籍	七六	文書応酬で対立続く	七五	灯火管制やりなおし	七九
軍用地供託金七千八百万円	七六	テイラー社の労働争議	七五	軍用地を開放	七九
本格的な運動を展開	七六	建設の現況(の電力)	七五	市町村長会文社委・教育布令を検討	七九
正月前の贈りもの	七六	“生活補償を打切らないで”	七六	地方財政に大きな負担	七九
演芸会に米兵も出演	七六	移住資金、市町村別融資額決る	七六	創立五十周年祝う	七九
自転車競走一位は城間盛康さん	七六	好景気の要因は?	七六	腹巻に40万円(日円)	七九
基地の中の農業(21)宜野湾村	七六	中部の地主も一括払い反対	七六	12連合教育区認可	七九
土地を守る組織一本化	七六	普天間権現発祥の地復元	七六	排水溝工事の施工、宜野湾村から陳情	七九
ことしのあゆみ⑥	七六	テイラー社のスト長引く	七六	開発青年隊は好評	七九
マリノ機墜落	七六	“冷たい対立”	七六	軍用地問題に主席が基本構想示す	七九
米一握り助け合い運動	七六	軍用地境界線の柵、撤去を軍に要請	七六	三つ模様の土地問題	七九
パイプ百五十米盗まる	七六	四万坪を開放	七六	土地収用令は危険	七九
沖銀支店開き開南、普天間で	七六	川崎(中島、あけぼの両婦人会)から	七六	ペルー観光団沖繩出身も13名	七九
外人兵寮屋で暴れご用	七六	温い贈り物	七六	全地主の意思を結集	七九
一九五七年(昭和三二)		米兵が自動車強盗	七六	土地接収に伴う作物損害	七九
米国の最終の方針	七六	沖繩戦“住民はかく戦えり”	七六	取締りは自主的に	七九
ある篤農家(9)宜野湾村の呉屋さん	七六	テ社争議続々資金集まる	七六	生理めで即死	七九
四原則貫徹の決意動かす	七六	布令164号土地収用計画公布	七六	郵便局新築敷地に軍用地開放せず	七九
一年で貸付けが十倍	七六	資材を横流し横領	七六	区長制度の廃止など	七九
		宜野湾村喜友名の水道事業に補助	七六		

区画整理で地価はね上る	八〇	一括払い既に四百万坪	八三	“生活の恒久的補償を”	八三
十億円のおみやげ	八〇	嘉数公民館29日落成式	八三	宜野湾村渡伯壮行会	八三
布令の実施延期を要請	八〇	普天間の都計二期工事へ	八三	ブラジルへ第二の故郷求めて	八三
軍道路賃地補償	八〇	盗んだ金を帳簿づけ	八四	労組結成ペブシコーラ	八三
中頭郡青年団協議会生る	八〇	道路占用の許可を申請	八四	軍の使っていない軍用地	八三
忘られた伊佐浜部落	八〇	農作物の除去宜野湾村に通告	八四	宜野湾村ナイキ基地接収	八三
南米呼寄せ移民63名きのう出発	八〇	宜野湾村が行政月報つくる	八四	とりやめを陳情	八四
普天間の都計進む	八〇	コザ学園中央高校認可	八四	ふえる傾向の混血児	八四
沖繩占領継続の構え?	八〇	肥沃のトップン耕地	八五	決意も新たな伊佐浜10家族	八五
普天間の都計と並行	八〇	琉米親善委	八五	住民への影響は少い	八六
経済振興に荒ぶ地解消	八〇	不法在留虚偽申請	八六	基地に咲いた琉米親善佳話	八六
高等弁務官モア中将任命	八〇	学校と家庭結ぶラジオ	八六	我如古野菜集荷消毒場、廃棄	八六
米婦人と二世が英語講座の奉仕	八〇	十一月に盛大な祝典	八七	機逃げ即死	八六
活発な意見で賑わう	八〇	宜野湾村新庁舎	八七	人身売買の疑い	八六
中部地区の公民館連絡協議会	八〇	宜野湾陸軍病院の敷地開放はできぬ	八七	ハワイから二つの観光団ご入来	八〇
慰霊観音像の製作準備進む	八〇	宜野湾村喜友名区お水サマのお祝い	八七	宜野湾村で強制測量	八〇
大山軍病院地主が開放を陳情	八〇	三百万円のコゲつき模合	八八	戦没者慰霊祭	八〇
汚水パイプ善処を要請	八〇	九月一日までに明渡し	八八	“沖風連”機構を改め	八〇
那覇市会瀬長市長の不信任案	八〇	米軍の軽爆撃機墜落	八八	宜野湾村普天間飛行場	八〇
大山軍病院敷地移転時に開放を	八〇	金武・恩納のナイキ基地	八九	新接収中止できぬ	八〇
ナイキ基地設定か	八〇	普天間総合グラウンド	八九	浮動する中部(8)	八〇
沖繩の全面管理継続	八〇	宜野湾村新庁舎	八〇	一号線(嘉手納・宜野湾・浦添村)	八〇
軍用地料三億円の行方	八〇	飲み水、手洗水にも困る	八〇	補助金を四万円に	八〇
グレン隊七名逮捕	八〇	土地連合会臨時総会	八〇	南米拓殖社に補助を	八〇

野嵩線道路補修工事完成……………八五三
 実戦さながらの演習……………八五三
 五色のテープに希望をこめて……………八五三
 移民団晴れの出発……………八五三
 中城・宜野湾の環状バス路線を……………八五三
 基地の街にドル・ブーム……………八五三
 米兵同志が喧嘩……………八五三
 馬にけられ重傷……………八五三
 米人が婦女暴行……………八五三
 普天満神宮寺例祭終る……………八五三
 危い！街頭乗り回す……………八五三
 普天間の貨馬、事故頻発……………八五三
 外人兵、警官に暴行……………八五三
 普天間の愚連隊挙る……………八五三
 ブラジルだより……………八五三
 少女に春売せた女……………八五三
 普天間署20日に発足……………八五三
 瀬長市長の退陣決まる……………八五三
 普天間署きょう発足……………八五三
 普天満宮に商店街……………八五三
 予算の範囲内で事をつくした……………八五三
 欠乏生活の覚悟で……………八五三
 市町村交付税額決まる……………八五三
 コザ市の軍用地八千坪開放……………八五三

ペーデーの週末外人事件ひんびん……………八五三
 平和祈る大観音像……………八五三
 強制測量に脅える……………八五三
 宜野湾村の土地調査許可……………八五三
 宜野湾への入域権……………八五三
 普天間飛行場連絡道路を拡張……………八五三
 地主新規接収に反対……………八五三
 普天間に暴力団……………八五三
 土地測量始まる宜野湾村……………八五三
 宜野湾区公民館八日に落成祝賀会……………八五三
 多い労基違反……………八五三
 ふえる子供の弾拾い……………八五三
 “家賃はこちらへ”宜野湾村……………八五三
 クリーン・タウン運動……………八五三
 盛大に落成式……………八五三
 米兵が貧困者に贈物……………八五三
 盗んだ弾から火薬を引抜く……………八五三
 各区に事務所建設……………八五三
 普天間宮境内から三中生の遺骨発掘……………八五三
 Xマスプレゼント……………八五三
 陸軍病院から大山校へ……………八五三
 軍用地料で潤おう……………八五三
 つち音高き建設譚……………八五三

一九五八年(昭和三十三年)
 普天間(男子)知念(女子)優勝……………八五三
 宜野湾村の新区長発令……………八五三
 宜野湾村に多い事件……………八五三
 十周年行事賑わう宜野湾村青年会……………八五三
 宜野湾村で強制測量……………八五三
 宜野湾村へ二千万円……………八五三
 田名文書など文化財指定……………八五三
 多い戦争未亡人……………八五三
 北白川さん一行平和観音像見学……………八五三
 軍用地料支払い……………八五三
 都計で地代上がる……………八五三
 一括払いは受取らぬ……………八五三
 “水の部落”喜友名区……………八五三
 脱走兵がタクシ強盗……………八五三
 村教育委が工事費を立替える……………八五三
 土地の強制測量取消を陳情……………八五三
 真志喜の耕作今後は許可証で……………八五三
 教育税を納めよう……………八五三
 新・改築は許す宜野湾村中原部落……………八五三
 生活改善の模範部落……………八五三
 中部は旧正一色！……………八五三
 生年祝の無い部落……………八五三

全部落に有線放送……………八六一
 生活に悩む伊佐浜の地主……………八六一
 機械化する農業……………八六一
 三派合同演説会……………八六一
 “花の村”宜野湾村嘉数……………八六一
 軍用地料への課税……………八六一
 中部にマリン景気……………八六一
 解雇職員を復職させ円満に解決……………八六一
 崩れた地盤・番狂わせの選挙区……………八六一
 できあがった佐真下公民館……………八六一
 相つぐ一括払い旋風……………八六一
 パーが五百軒も中部……………八六一
 一括払い絶対反対……………八六一
 宜野湾農協各地で巡回映画……………八六一
 水道や公民館落成……………八六一
 敬老会兼ねて学事奨励会……………八六一
 レクリエーション大会賑わう……………八六一
 暗い顔の基地業者(Aサイン)……………八六一
 長欠児に多い結核……………八六一
 二婦人会を表彰……………八六一
 一括払い阻止のホゾかためる……………八六一
 第一回“タイムス駅伝”……………八六一
 チリ捨て場にガード……………八六一
 在籍が減った中校、小校は教室不足……………八六一

一括払いを停止モ弁務官言明……………八六一
 普天間地区交通安全協会の設立委合……………八六一
 米兵に酒売るな……………八六一
 強制測量の通知……………八六一
 一括払い中止、地主の反響……………八六一
 普天満宮デパート……………八六一
 工事終って店舗入る……………八六一
 迷信を打破しよう……………八六一
 学校図書館を建設……………八六一
 夢でない普天間市……………八六一
 ビニールや毛糸編物大流行……………八六一
 宜野湾村青年会長に松田利吉君……………八六一
 宜野湾村に再接収……………八六一
 八十年来の異状発生……………八六一
 普天間に淡水プール……………八六一
 爆発事故を防ごう……………八六一
 区長会の遅刻・欠席罰金制で取締る……………八六一
 住民登録法の立法を……………八六一
 全員協議会開く軍用地具体案……………八六一
 地主の多数は契約希望……………八六一
 近代兵器を一般公開……………八六一
 天然記念物普天間松並木姿消す……………八六一
 飛行機を焼いて消火演習も披露……………八六一
 雨季で浸水を心配……………八六一

米陸軍病院竣工……………八六一
 軍労働法一括払いの撤廃を叫ぶ……………八六一
 部落建設と畜産組合……………八六一
 第三海兵隊バンド……………八六一
 宜野湾郵便局新庁舎落成……………八六一
 派代表団きょううたつ……………八六一
 モーア言明一括払い中止は……………八六一
 立法院の誤解……………八六一
 普天間の水源もOK……………八六一
 他の市町村にさきがけ……………八六一
 地公法の精神をいれ……………八六一
 宜野湾村職員給与条例を決める……………八六一
 50年前の沖繩移民生存55名……………八六一
 近く軍電話架設……………八六一
 恐るべき少年たち……………八六一
 たまりかねた中原区……………八六一
 “これは不合理だ”……………八六一
 食糧会社社地の開放を……………八六一
 チリの悪臭に悩む……………八六一
 表彰された協同組合……………八六一
 軍用地会談終る……………八六一
 共同コミュニケーションを発表……………八六一
 宜野湾村が青年幹部を研修……………八六一
 中原部落の建築問題……………八六一

軍が増築要望を考慮……………	八四	伊佐氏が再選宜野湾農協理事会……………	八四	宜野湾中校の給水施設……………	九三
全部落の立退き告知……………	八四	宜野湾村救済世帯に……………	八四	十ガロンで五セント……………	九三
子供の遊び場をつくる……………	八四	村から盆用品を贈る……………	八四	水を買って暮す中原部落……………	九三
さながら西部劇危ない外人の乗馬遊び……………	八四	普天間開放地の区画整理……………	八四	宜野湾軍用地料支払い……………	九三
立退きの岐路に立つ中原部落……………	八四	新首長そくそく決る地方選挙……………	八五	役所で十七日まで……………	九三
交通信号灯を設置……………	八七	軍用地料千二百万円……………	八五	中部第二の「良い街」……………	九四
普天間の「平和通り」……………	八七	ドル切替え前に支払う……………	八五	普天間開放地中央道路……………	九四
会員が自力できれいな工事……………	八七	定員はるかに突破……………	八六	「通り名」懸賞募集(公告)……………	九四
生産業振興へ補助金69万円……………	八七	ドル切替え、きょうから交換……………	八六	簡易水道でよみがえった喜友名部落……………	九四
バ民政官の贈り物……………	八七	地方議員当選者……………	八六	兵隊の洗濯物……………	九五
機械化の移民もくろむ……………	八六	最高四万二千元……………	八七	普天間の水道消毒おわる……………	九五
普天間にも横断歩道……………	八六	買物に手間どる……………	八七	普天間に水売り十ガロン二セント……………	九五
原水爆禁止協議会きのう結成……………	八六	普天間商店街のドル切替え初日……………	八七	軍道路からの乗害……………	九六
独立校設置を計画……………	八六	古代沖繩を採る大山の貝塚を発掘……………	八七	宜野湾村が登記所うつす……………	九六
普天間地代が値上る……………	八六	米寿の祝宴賑わう……………	八八	基幹配水管に二六〇万ドル……………	九六
労組と警官隊が乱闘騒ぎ……………	八八	昨夜各地でお月見……………	八八	部落給出で奉仕作業……………	九六
悪化するエ社争議……………	八八	普天間(小)校の保健室……………	八九	街を暴走する貸馬……………	九六
こうして大量検挙へ……………	八八	たんぼが枯渇―宇地泊―……………	八九	「すずらん通り」と命名……………	九七
「交渉する用意あり」……………	八八	値上げは締め出そう……………	八九	戦前のように漁業を……………	九七
留置場でハンスト……………	八八	地料は五年ごと更新……………	九〇	宇地泊で洗濯工場から……………	九八
普天間に立退旋風……………	八八	お手上げの水不足(中部)……………	九二	水田荒らす「汚い水」……………	九八
狭い土地の高度利用……………	八八	大山三叉路の交通量……………	九三	外人車にはねらる……………	九八
民連からも立候補……………	八八	宜野湾村議長長桃原正賢氏……………	九三	宜野湾村畜産組合発足……………	九八
三つ巴の宜野湾村長選……………	八八	登ちゃんにはねらる……………	九三	軍用地の中の部落……………	九八

宜野湾村中原で懇談会……………	九二
嬰兒遺棄ハニー族など洗う……………	九〇
豚価もちなおる……………	九〇
小学生馬にはねらる……………	九二
土地安定法を可決……………	九二
轢逃げ、三中生重傷……………	九三
普天間中三名ひき逃げに……………	九三
完全補償を要請……………	九三
琉米合同キャンプポリ……………	九三